

神戸淡路鳴門自動車道の年表

青:「主要事業の概要」掲載項目

オレンジ:関連する主な法制度、計画

緑:主要な自然災害

神戸淡路鳴門自動車道(徳島県鳴門市)

| 年度 | 西暦 | 全体 | 市町村別 | |
|--------|------|--|------|----|
| | | | 市町村名 | 内容 |
| 大正2年度 | 1913 | 大正3年3月、徳島県出身の中川虎之助代議士が第31回帝国議会予算委員会で「鳴門架橋に関する建議案」を提案(本州四国連絡橋公団三十年史743頁) | | |
| 大正8年度 | 1919 | 4月、 道路法公布 | | |
| 大正8年度 | 1919 | 12月、 道路構造令・街路構造令制定 | | |
| 昭和15年度 | 1940 | 4月、内務省神戸土木出張所の原口忠次郎所長が大小鳴門架橋計画を発表(本州四国連絡橋公団三十年史743頁) | | |
| 昭和27年度 | 1952 | 6月、 道路法公布 | | |
| 昭和28年度 | 1953 | 四国国体開催 | | |
| 昭和28年度 | 1953 | 8月、原口忠次郎神戸市長が明石海峡架橋構想を固め、調査準備に着手(本州四国連絡橋公団三十年史744頁) | | |
| 昭和28年度 | 1953 | 8月、鉄道敷設法の改正により、本四淡路線が予定線として追加(本州四国連絡橋公団三十年史744頁) | | |
| 昭和29年度 | 1954 | 第1次道路整備五箇年計画(昭和29～33年度)の策定 | | |
| 昭和30年度 | 1955 | 4月、日本国有鉄道がAルート(明石・鳴門)の調査開始(本州四国連絡橋公団三十年史744頁) | | |
| 昭和30年度 | 1955 | 8月、「本土淡路四国地区通鉄道促進期成同盟会」が結成され、原菊太郎徳島県知事を会長に選出(本州四国連絡橋公団三十年史745頁) | | |
| 昭和32年度 | 1957 | 4月、 高速自動車道法公布 | | |
| 昭和32年度 | 1957 | 4月、 道路法改正(高速自動車国道が道路の種類に追加) | | |
| 昭和32年度 | 1957 | 昭和33年3月、 道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律公布 | | |
| 昭和32年度 | 1957 | 昭和33年3月、 道路整備特別会計法公布 | | |
| 昭和32年度 | 1957 | 昭和33年3月、 道路法改正(一級国道の新設・改築は建設大臣が行うなど) | | |
| 昭和33年度 | 1958 | 第2次道路整備五箇年計画(昭和33～37年度)の策定 | | |
| 昭和33年度 | 1958 | 6月、四国地方建設局設置(道路ポケットブック2009年2頁) | | |
| 昭和33年度 | 1958 | 8月、 道路構造令公布 | | |
| 昭和33年度 | 1958 | 昭和34年3月、 道路法改正(自動車専用道路制度の創設) | | |
| 昭和34年度 | 1959 | 4月、建設省が本州四国架橋Aルート(明石・鳴門)、Cルート(日比・高松)、Dルート(児島・坂出)、Eルート(尾道・今治)の4ルートを対象に地質調査、経済調査を開始(本州四国連絡橋公団三十年史746頁) | | |
| 昭和35年度 | 1960 | 6月、本土淡路四国連絡橋架設促進協議会が発足(会長兵庫県知事) | | |
| 昭和35年度 | 1960 | 7月、 国土開発幹線自動車道建設法公布 | | |
| 昭和35年度 | 1960 | 10月、 四国地方開発促進計画(第1次)の策定 | | |
| 昭和35年度 | 1960 | 昭和36年2月、本四連絡架橋徳島県促進協議会が発足(本州四国連絡橋公団三十年史747頁) | | |
| 昭和36年度 | 1961 | 第3次道路整備五箇年計画(昭和36～40年度)の策定 | | |
| 昭和36年度 | 1961 | 4月、建設省がBルート(宇野・高松)を調査対象に採択。日本国有鉄道がBルート(宇野・直島・高松)、Cルート(宇野・大槌島・高松)、Dルート(下津井・坂出)を調査対象に採択(本州四国連絡橋公団三十年史747頁) | | |
| 昭和36年度 | 1961 | 5月、鉄道建設審議会が、本四淡路線を調査線に決定(本州四国連絡橋公団三十年史747頁) | | |
| 昭和36年度 | 1961 | 8月、建設省と国鉄が、橋梁の技術上の諸問題に関する調査を土木学会に共同委託(本州四国連絡橋公団三十年史747頁) | | |
| 昭和37年度 | 1962 | 10月、 全国総合開発計画の策定 | | |
| 昭和37年度 | 1962 | 11月、明石・鳴門併設橋促進高知県協議会が発足(本州四国連絡橋公団三十年史748頁) | | |
| 昭和38年度 | 1963 | 4月、 共同溝の整備等に関する特別措置法公布 | | |
| 昭和39年度 | 1964 | 第4次道路整備五箇年計画(昭和39～43年度)の策定 | | |
| 昭和39年度 | 1964 | 6月、瀬戸内総合開発懇談会(船上会談)を開催。席上、河野建設大臣は明石・鳴門ルートを第一に着工したい旨を発言(本州四国連絡橋公団三十年史748頁) | | |
| 昭和39年度 | 1964 | 7月、 道路法改正(一級国道、二級国道の区別が廃止、一般国道の制度創設) | | |
| 昭和39年度 | 1964 | 昭和40年2月、 四国地方開発促進計画(第2次)の策定 | | |
| 昭和40年度 | 1965 | 5月、土木学会本州四国連絡橋技術調査委員会が第一次報告書を答申(本州四国連絡橋公団三十年史749頁) | | |

神戸淡路鳴門自動車道の年表

青:「主要事業の概要」掲載項目

オレンジ:関連する主な法制度、計画

緑:主要な自然災害

神戸淡路鳴門自動車道(徳島県鳴門市)

| 年度 | 西暦 | 全体 | 市町村別 | |
|--------|------|--|------|---|
| | | | 市町村名 | 内容 |
| 昭和40年度 | 1965 | 昭和41年3月、土木学会本州四国連絡橋技術調査委員会が中間報告を発表(本州四国連絡橋公団三十年史750頁) | | |
| 昭和41年度 | 1966 | 4月、交通安全施設等整備事業の推進に関する法律公布 | | |
| 昭和42年度 | 1967 | 第5次道路整備五箇年計画(昭和42～46年度)の策定 | | |
| 昭和42年度 | 1967 | 6月、土木学会長が建設省と鉄建公団に本州四国連絡橋技術調査報告書(最終)を提出(本州四国連絡橋公団三十年史750頁) | | |
| 昭和42年度 | 1967 | 昭和43年2月、建設省と運輸省が本州四国連絡橋の工費、工期の調査結果を発表(B、Cルートは工事が難しく、工費も高づくため、ルートはA(明石・鳴門)、D(児島・坂出)、E(尾道～今治)の3ルートに絞られた(本州四国連絡橋公団三十年史751頁) | | |
| 昭和44年度 | 1969 | 5月、新全国総合開発計画の策定 | | |
| 昭和45年度 | 1970 | 第6次道路整備五箇年計画(昭和45～49年度)の策定 | | |
| 昭和45年度 | 1970 | 7月、本州四国連絡橋公団設立(大鳴門橋工事誌476頁) | | |
| 昭和45年度 | 1970 | 10月、道路構造令改定(交通量に基づく車線数の決定) | | |
| 昭和46年度 | 1971 | 4月、道路法改正(交通安全のための規定整備) | | |
| 昭和47年度 | 1972 | 11月、本州四国連絡橋公団が本州四国連絡橋調査報告書を建設、運輸両大臣に提出(神戸・鳴門ルート及び児島・坂出ルートは道路鉄道併用橋、尾道・今治ルートは道路単独橋)(本州四国連絡橋公団三十年史756頁) | | |
| 昭和48年度 | 1973 | 第7次道路整備五箇年計画(昭和48～52年度)の策定 | | |
| 昭和48年度 | 1973 | 10月、本州四国連絡橋神戸～鳴門ルートを含む3ルートに工事実施計画認可(大鳴門橋工事誌476頁) | | |
| 昭和48年度 | 1973 | 11月、総需要抑制策の一環として本州四国連絡橋着工延期の指示(大鳴門橋工事誌476頁) | | |
| 昭和50年度 | 1975 | 8月、経済企画庁、建設省、国土庁の三省庁協議により、当面の建設方針決定(児島・坂出ルート及び大鳴門橋、大三島橋、因島大橋の「1ルート3橋」)(本州四国連絡橋公団三十年史759頁) | | |
| 昭和51年度 | 1976 | | 鳴門市 | 6月、大鳴門橋[徳島31]工事着手(大鳴門橋工事誌477頁) |
| 昭和51年度 | 1976 | | 鳴門市 | 7月、大鳴門橋[徳島31]起工式(大鳴門橋工事誌477頁) |
| 昭和52年度 | 1977 | 11月、第三次全国総合開発計画の策定 | | |
| 昭和53年度 | 1978 | 第8次道路整備五箇年計画(昭和53～57年度)の策定 | 鳴門市 | 昭和54年3月、大鳴門橋[徳島31]多柱掘削完了(大鳴門橋工事誌477頁) |
| 昭和53年度 | 1978 | 9月、本州四国連絡道路淡路縦貫道起工式(本州四国連絡橋公団三十年史765頁) | | |
| 昭和53年度 | 1978 | 昭和54年1月、運輸・建設両省は大鳴門橋を道路鉄道併用橋として建設すること等を合意(本州四国連絡橋公団三十年史766頁) | | |
| 昭和53年度 | 1978 | 昭和54年3月、四国地方開発促進計画(第3次)の策定 | | |
| 昭和54年度 | 1979 | | 鳴門市 | 12月、大鳴門橋[徳島31]主塔工事着手(大鳴門橋工事誌477頁) |
| 昭和55年度 | 1980 | | 鳴門市 | 昭和56年3月、大鳴門橋[徳島31]下部工完成(大鳴門橋工事誌477頁) |
| 昭和56年度 | 1981 | | 鳴門市 | 8月、大鳴門橋[徳島31]塔架設工事竣工(大鳴門橋工事誌478頁) |
| 昭和57年度 | 1982 | 9月、道路構造令改定(沿道的生活環境への配慮) | 鳴門市 | 昭和57年2月、大鳴門橋[徳島31]メインケーブル架設開始(本州四国連絡橋公団三十年史770頁) |
| 昭和58年度 | 1983 | 第9次道路整備五箇年計画(昭和58～62年度)の策定 | 鳴門市 | 4月、大鳴門橋[徳島31]ケーブル架設工事完了(大鳴門橋工事誌478頁) |
| 昭和58年度 | 1983 | | 鳴門市 | 5月、大鳴門橋[徳島31]補剛桁架設開始(本州四国連絡橋公団三十年史771頁) |
| 昭和58年度 | 1983 | | 鳴門市 | 6月、撫養橋下部工完了(大鳴門橋工事誌478頁) |
| 昭和58年度 | 1983 | | 鳴門市 | 昭和59年3月、大鳴門橋[徳島31]補剛閉合(中央径間)(本州四国連絡橋公団三十年史772頁) |
| 昭和59年度 | 1984 | | 鳴門市 | 4月、大鳴門橋[徳島31]補剛閉合(側径間)(本州四国連絡橋公団三十年史772頁) |
| 昭和59年度 | 1984 | | 鳴門市 | 5月、大鳴門橋[徳島31]鋼床版架設完了(大鳴門橋工事誌478頁) |
| 昭和59年度 | 1984 | | 鳴門市 | 11月、大鳴門橋[徳島31]舗装開始(大鳴門橋工事誌478頁) |
| 昭和60年度 | 1985 | 12月、国土・運輸・建設三大臣協議により、明石海峡大橋事業化追加決定(本州四国連絡橋公団三十年史775頁) | 鳴門市 | 6月、大鳴門橋[徳島31]舗装工事完了(大鳴門橋工事誌478頁) |
| 昭和60年度 | 1985 | | 鳴門市 | 6月、本州四国連絡道西淡出入口・鳴門北間(大鳴門橋[徳島31])の供用開始(大鳴門橋工事誌478頁) |
| 昭和61年度 | 1986 | 4月、明石海峡大橋起工式(本州四国連絡橋公団三十年史775頁) | | |
| 昭和62年度 | 1987 | 6月、第四次全国総合開発計画の策定 | 鳴門市 | 5月、本州四国連絡道路鳴門北IC・鳴門IC間(大鳴門橋関連区間[徳島38])開通式、供用開始(本州四国連絡橋公団三十年史777頁) |
| 昭和63年度 | 1988 | 第10次道路整備五箇年計画(昭和63～平成4年度)の策定 | | |
| 平成元年度 | 1989 | 6月、道路法改正(立体道路制度の創設) | | |

神戸淡路鳴門自動車道の年表

青:「主要事業の概要」掲載項目

オレンジ:関連する主な法制度、計画

緑:主要な自然災害

神戸淡路鳴門自動車道(徳島県鳴門市)

| 年度 | 西暦 | 全体 | 市町村別 | |
|--------|------|---|------|-----------------------------------|
| | | | 市町村名 | 内容 |
| 平成2年度 | 1990 | 5月、四国地方開発促進計画(第4次)の策定 | | |
| 平成3年度 | 1991 | 5月、道路法改正(自動車駐車場に関する規定の整備) | | |
| 平成4年度 | 1992 | 6月、大鳴門橋橋上通行台数2,000万台突破(本州四国連絡橋公団三十年史783頁) | | |
| 平成4年度 | 1992 | 平成5年2月、道の駅に関する要綱制定 | | |
| 平成5年度 | 1993 | 第11次道路整備五箇年計画(平成5～9年度)の策定 | | |
| 平成5年度 | 1993 | 東四国国体開催 | | |
| 平成5年度 | 1993 | 11月、道路構造令改定(人が中心の道づくりへの取り組み) | | |
| 平成6年度 | 1994 | 平成7年3月、電線共同溝の整備等に関する特別措置法公布 | | |
| 平成8年度 | 1996 | 5月、道路法改正(道路交通騒音に関する規定の整備) | 鳴門市 | 7月、撫養橋閉合式(本州四国連絡橋公団三十年史786頁) |
| 平成8年度 | 1996 | | 鳴門市 | 8月、鳴門第1トンネル貫通式(本州四国連絡橋公団三十年史786頁) |
| 平成8年度 | 1996 | | 鳴門市 | 8月、鳴門第2トンネル貫通式(本州四国連絡橋公団三十年史786頁) |
| 平成9年度 | 1997 | 6月、神戸・鳴門ルートの道路名称決定(神戸淡路鳴門自動車道)(本州四国連絡橋公団三十年史787頁) | | |
| 平成9年度 | 1997 | 平成10年3月、21世紀の国土のランドデザインの策定 | | |
| 平成10年度 | 1998 | 第12次道路整備五箇年計画(平成10～14年度)の策定 | | |
| 平成10年度 | 1998 | 4月、神戸淡路鳴門自動車道全線開通式(本州四国連絡橋公団三十年史788頁) | | |
| 平成10年度 | 1998 | 6月、道路法改正(高速道路ICの利便増進施設の占用に関する規定の整備) | | |
| 平成10年度 | 1998 | 平成11年3月、四国地方開発促進計画(第5次)の策定 | | |
| 平成11年度 | 1999 | 平成12年1月、大鳴門橋通行台数5,000万台突破(本州四国連絡橋公団三十年史790頁) | | |
| 平成13年度 | 2001 | 4月、道路構造令改定(道路利用者の独立した空間の確保) | | |
| 平成15年度 | 2003 | 7月、道路構造令改定(コスト縮減への対応) | | |
| 平成15年度 | 2003 | 10月、第1次社会資本整備重点計画(平成15～19年度)の策定 | | |
| 平成16年度 | 2004 | 6月、道路法改正(高速道路SA・PAの利便施設部分に関する規定の整備) | | |
| 平成18年度 | 2006 | 平成19年3月、道路法改正(道路の機能へのにぎわい交流の場としての機能等の追加) | | |
| 平成20年度 | 2008 | 7月、国土形成計画(全国計画)の策定 | | |
| 平成20年度 | 2008 | 平成21年3月、第2次社会資本整備重点計画(平成20～24年度)の策定 | | |
| 平成21年度 | 2009 | 8月、四国圏広域地方計画の策定 | | |
| 平成21年度 | 2009 | 8月、四国ブロックの社会資本の重点整備方針の策定 | | |
| 平成24年度 | 2012 | 8月、第3次社会資本整備重点計画(平成24～28年度)の策定 | | |
| 平成25年度 | 2013 | 6月、道路法改正(道路の点検、大型車両の通行の誘導等の道路の老朽化対策) | | |
| 平成27年度 | 2015 | 8月、新たな国土形成計画(全国計画)の策定 | | |
| 平成27年度 | 2015 | 平成28年3月、四国圏広域地方計画の策定 | | |
| 平成27年度 | 2015 | 平成28年3月、四国ブロックにおける社会資本整備重点計画の策定 | | |

資料

- 1 本州四国連絡橋公団編「大鳴門橋工事誌」(1987年)
- 2 本州四国連絡橋史編さん委員会編「本州四国連絡橋公団三十年史」(2000年)